

池田町第 4 次総合計画

池田町まち・ひと・しごと創生
総合戦略

いきいきはつらつ 心うるおう
住みよい町 いけだ



令和 2 年 3 月 (改正)

北海道池田町

基本的な方向と具体的な施策

【基本目標 1】 地域資源を生かした個性的で活力あるまちづくり	
数値目標	
雇用者数	
現 状 値	2,679 人 (H26 経済センサ)
目 標 値	2,649 人 (減少数の抑制) 【変更なし：未公表・確認未済により】
商工会加盟事業者数	
現 状 値	192 件 (H26 年)
目 標 値	182 件 (減少数の抑制) 【目標再設定 変更なし】
新規起業数	
現 状 値	1 件 (H26 年)
目 標 値	10 件 (5 年間の累計) 【12 件 (6 年間の累計)】
ワインの販売額	
現 状 値	780,445 千円 (H26 年)
目 標 値	800,000 千円 (H31 年) 【800,000 千円 (R02 年)】
基本的方向	
<p>地域の特性を生かした創業の促進・事業活動の活性化により、魅力ある就業の機会を創出する。</p> <p>起業に際し、町内の空き店舗(家)を活用することを経済的に支援し、まちなかの活性化を図る。</p> <p>本町の地域資源(農畜産物、ワイン等)や潜在能力を活かしながら、地域への経済波及効果の高い産業の誘導(企業誘致、農業生産法人化)や農業の多様な担い手の育成、生産性の優れた営農を可能とする環境の整備を進めていく。</p> <p>地域産業の振興を図るため新製品・新技術の開発による起業・創業、事業拡大・経営基盤強化の推進に取り組む。</p>	

基本項目	農林業経営の体質強化	
概 要	担い手への農地の面的集積と各種支援により、農業経営の体質強化を目指す。	
K P I (重要業績評価指標)		
農業生産法人数		
	現 状 値	目 標 値 (平成 31 年) 【(令和 2 年)】
	9 件 (2015 農林業センサ)	15 件 【変更なし】
新規就農者数 (後継者の就農を含む。)		
	現 状 値	目 標 値 (平成 31 年) 【(令和 2 年)】
	8 人 (H26 年)	25 人 (5 年間の累計) 【30 人 (6 年間の累計)】

主な施策	
担い手に対する農地の面的集積の促進、 効率的な農業経営に対する支援、 農業継承のための新規就農・農業研修への支援、 法人化、農作業受託組織化等地域農業支援システムの推進、 新規作物導入、多角化・高付加価値化への支援、 安定した畜産経営のための支援、 鳥獣被害の防止、 土地改良などの農業生産基盤整備の推進、 木材利用の普及・拡大	
具体的な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛及び和牛増頭支援事業(既存) ・子牛の感染性下痢症予防対策事業(既存) ・防除用水給水施設整備事業(既存) ・産業活性化支援事業(既存) ・未来につなぐ森づくり推進事業(既存) ・農作業安全機器導入支援事業(新規) ・狩猟免許等新規取得支援事業(新規) ・農業経営法人化等支援事業(新規) ・農業経営継承円滑化支援事業(新規) ・GPSガイダンスシステム等導入体制整備事業(新規) 	

基本項目		商工業の活性化	
概 要	<p>中心市街地における、空き地・空き店舗の活用やにぎわいのある空間の整備を進める。</p> <p>地場産品を生かした企業づくりと商品開発を支援し、活気ある地場企業の育成と、雇用の場の創出を図る。</p>		
K P I (重要業績評価指標)			
空き店舗活用件数			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	1件(H26年)	5件(5年間の累計)【6件(6年間の累計)】	
特産品開発件数			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	1件(H26年)	5件(5年間の累計)【6件(6年間の累計)】	
産業活性化事業の申請件数			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	1件(H26年)	10件(5年間の累計)【15件(6年間の累計)】	
主な施策			
地域資源を活用した取り組みの支援、 新規起業・多角経営の支援、 店舗・設備投資に対する支援、 地域内循環の推進、 既存商品のブラッシュアップ			
具体的な事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・産業活性化支援事業(既存) ・空店舗活用への支援(新規) ・プレミアム商品券事業(既存) ・ふるさと寄附金特典事業の拡充(既存) ・地域資源PR事業(既存) 			

基本項目	ブドウ・ブドウ酒事業の振興	
概要	<p>安定的な原料ブドウの供給体制を確保するとともに、寒冷地に適した独自ブドウから、高品質で魅力あふれるワイン造りを継続し、さらなる地域資源の活用を図る。</p> <p>ブランド力の向上、消費者ニーズに適合した商品の提案、有効的な販売促進活動により販路拡大を図る。</p> <p>ワインの消費啓発及び町内特産品の発信基地として、ワイン城観光の強化を図る。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
新商品の開発数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	2件(H26年)	10件(5年間の累計)【26件(6年間の累計)】
城内ワイン販売額；町(生産者)販売額		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	81,000千円(H26年)	85,050千円【変更なし】 ふるさと寄附金特典品の販売額は除く。
講習会、研修会の開催数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	2回(H26年)	15回(5年間の累計)【18回(6年間の累計)】
主な施策		
ブドウ栽培の普及及び原料ブドウの確保、ワイン製造の充実、ワイン販売の促進、ワイン城における消費啓発、ブランドの育成と強化、地域との連携強化、道内のワイン産地拡大に向けた広域連携		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷地でのブドウ栽培の研究、苗木増産、栽培普及・指導(既存) ・原料ブドウ供給体制の整備(法人化等)(新規) ・地域資源を活用した製品開発(町内ブドウの有効利用)(既存) ・提案商品の充実、輸出促進等(既存) ・ワイン文化振興事業(既存) ・ワイン城の整備(耐震化等)(既存) 		

基本項目	多様な就労環境の創出	
概要	雇用の場の確保に向けて多様な就労環境の創出を図る。	
K P I (重要業績評価指標)		
企業誘致数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】

	1 件 (H26 年)	3 件 (5 年間の累計) 【3 件 (6 年間の累計)】
生活支援ヘルパー登録者数		
	現状値	目標値(平成 31 年) 【(令和 2 年)】
	0 人 (H26 年)	10 人 【変更なし】
主な施策		
医療・介護職員の雇用の場の創出、障がい者の就労環境の創出、ICT を活用した就労の支援		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業における基準緩和サービスの構築(新規) ・障がい者就労施設の誘致(新規) ・テレワーク(サテライトオフィス)導入企業の誘致(新規) 		

【基本目標 2】 池田町への新しい人の流れをつくる魅力あるまちづくり	
数値目標	
交流人口(観光入込客数)	
現 状 値	257 千人
目 標 値	300 千人(5 年後 17% 増) 【変更なし】
転入者数	
現 状 値	252 人(H25 年) 地域経済分析システム【RESAS】
目 標 値	40 人増加(5 年間の累計) 【変更なし・確認未済により】
移住者数(ワンストップ窓口対応)	
現 状 値	5 人
目 標 値	40 人(5 年間の累計) 【30 人(6 年間の累計)】下方修正
基本的方向	
<p>大自然に囲まれた豊かな生活環境を生かし、地域の魅力向上を図るとともに、交流人口の増加、情報の発信により、新たな住民を呼び込む。</p> <p>魅力的な観光資源を効果的に発信し、知名度を高めることにより、池田町への来訪を促す。</p> <p>コンパクトなまちなかを形成し、転入者(移住者など)と地域住民とのコミュニティが生まれやすい住まいづくりを進め、高齢者の居住の安定を確保する高齢者専用住宅の整備を図る。</p>	

基本項目	池田町へ人を呼び込む魅力づくり
概 要	<p>体験型観光の推進や魅力的なイベントの開催など、積極的な観光施策を進めることで魅力ある観光地を形成し、池田町への来訪者を増加させる。</p> <p>他地域との連携による新たな広域観光ルートの形成を進める。</p>

	交流人口の拡大、情報発信力の強化により、地域の魅力を全国に発信する。	
K P I (重要業績評価指標)		
インバウンド対策に係る講習会、研修会の開催数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	-	10回(5年間の累計)【12回(6年間の累計)】
地域おこし協力隊の採用数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	-	20人(5年間の累計)【24人(6年間の累計)】
新たな観光資源の開発数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	-	3件(5年間の累計)【3件(6年間の累計)】
主な施策		
ワイン城などの観光拠点の整備、ワイン祭りや各種イベントの充実、新たな観光資源と観光ルートの開発、広域観光の推進、インバウンド政策の推進、池田町を訪れる機会を増やす		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR推進事業(既存) ・インバウンド対策の充実(新規) ・観光サイン・誘導版設置(新規) ・各種イベントの開催と充実(既存) ・ふるさと寄附金感謝特典事業の推進(既存) ・メディアを活用した情報発信の検討(新規) ・観光ホスピタリティ充実のための研修会の開催(新規) ・道の駅の整備検討(新規) ・千代田堰堤展望駐車場等整備事業(新規) ・飲食店を活用した食観光の推進(既存) ・地域おこし協力隊推進事業(新規) 		
基本項目	移住対策の促進	
概要	<p>豊かな自然環境を活かした、田舎暮らしの提案を図る。</p> <p>積極的な情報発信と相談体制の充実、移住者のニーズに添った対策の構築による移住活動の促進を図る。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
お試し住宅の利用者数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	延 386人(H26年)	2,125人(5年間の累計) 【2,550人(6年間の累計)】
転入者の住宅(新築及び中古)購入数		

	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	5人(H26年)	30人(5年間の累計)【50人(6年間の累計)】
移住フェアでの相談者数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	38人(H26年)	200人(5年間の累計)【240人(6年間の累計)】
主な施策		
ワンストップ窓口の機能強化、「ちょっと暮らし」の取り組みと周知、二地域居住の推進、U・Iターン情報提供		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用(新規) ・住宅取得応援事業(新規) ・「二地域居住」や「U・Iターン希望者の移住」促進(既存) ・住情報ステーション管理運営事業(既存) ・お試し暮らしの推進(既存) 		
基本項目 魅力ある地域の創造		
概要	地域特性や地域の潜在力を見つめ直し、地域の魅力アップに繋げる。移住の受け皿となるまちなかの居住環境・生活基盤を整備し、まちの魅力を高める。	
K P I (重要業績評価指標)		
住宅リフォーム促進奨励事業利用件数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	48件(H26年)	250件(5年間の累計)【300件(6年間の累計)】
イベントの開催		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	6回(H26年)	40回(5年間の累計) 【36回(6年間の累計)】下方修正
主な施策		
「空き家」や[空き地]の利活用、空き地を活用した、ゆとりある居住空間の整備 空き地を活用した、町民農園等の開設、まとまった土地の確保、道路、水道などのインフラ整備、緑化の推進と美しい景観づくり		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム促進奨励事業(既存) ・老朽建物解体促進事業(既存) ・定住促進住宅の整備(既存) ・総合公園の再整備(新規) ・住情報ステーション管理運営事業(既存) ・民間賃貸住宅建設促進事業(既存) ・市街地内歩道2次改築整備事業(既存) ・町民向けイベントの開催(新規) 		

【基本目標 3】 結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
数値目標	
出生数	
現 状 値	26 人 (H26 年)
目 標 値	180 人 (5 年間の累計) 5 年間で 38% 増 【202 人 (6 年間の累計) 5 年間で 29% 増】下方修正
合計特殊出生率	
現 状 値	1.26 (H20 年 ~ H25 年)
目 標 値	1.53 (H26 年 ~ H30 年) 【変更なし：未公表・確認未済により】
基本的方向	
<p>結婚・出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、結婚・出産・育児について希望を持てる社会が形成されるよう環境を整備する。</p> <p>妊娠・出産・子育てへの不安を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指す。</p> <p>結婚のきっかけづくりとして、結婚を希望する方などの幅広い人的交流や情報の交換、仲間づくりなど様々な出会いの機会の構築を図る。</p> <p>妊娠中の健康管理や精神的サポート等、安全で安心な妊娠・出産への支援を図る。</p> <p>子育てに係る費用の一部を助成することで、経済的要因による親の負担を軽減し、多子化の推進を図る。</p> <p>家族の大切さを再認識するとともに、家庭教育の必要性を保護者に促し、充実した教育環境の整備により、次世代を担う人材の育成に努める。</p> <p>子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるため、家庭から離れた異なる地域において、様々な体験、団体生活を経験させる取り組みを進める。</p>	

基本項目	結婚支援	
概 要	<p>結婚の希望をかなえるため各種事業に取り組む。</p> <p>結婚から妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目のないサポート体制を構築する。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
婚活イベントによる婚姻実績数		
	現 状 値	目標値(平成 31 年) 【(令和 2 年)】
	-	5 件 (5 年間の累計) 【6 件 (6 年間の累計)】
主な施策		
<p>出会いの場の確保、結婚をサポートする体制の構築、農業後継者縁結びコーディネータの配置</p>		

具体的な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 婚活事業の実施(農業後継者対策推進事業・婚活支援事業)(既存) <ul style="list-style-type: none"> テーマ性を設けた独身男女出会いの場の提供(趣味、ボランティアなど) 婚活ノウハウの組み立て検討(民間に委託など) 本人及び親を対象とした婚活セミナーの開催(既存) ・ 個々の生活環境に応じた情報の提供(新規) ・ 若者の人生設計を考える場の提供(結婚観、子育て等)(新規) 	

基本項目		安全な妊娠・出産への支援	
概要	妊娠中の健康管理や精神的サポートなど安全で安心な妊娠・出産への支援充実を図る。		
K P I (重要業績評価指標)			
妊婦相談等支援実施率			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	97.8%(H26年)	100%【変更なし】	
妊婦健診受診率			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	97.8%(H26年)	100%【変更なし】	
不妊治療支援件数			
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】	
	2人(H26年)	15人(5年間の累計)【18人(6年間の累計)】	
主な施策			
妊婦健診等の充実、 妊娠期の保健対策の充実、 不妊治療の支援			
具体的な事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊治療費の助成拡充(新規) ・ 妊婦健康診査費の助成(既存) ・ パパママ教室(既存) ・ 妊婦相談・訪問支援事業(既存) ・ 出産祝金交付事業(既存) 			

基本項目		子育て支援サービスの充実	
概要	<p>子育ての悩みを気軽に相談し支援を受けられる体制づくりと、地域全体で子育てを支える体制づくりを構築する。</p> <p>妊娠・出産および子育てに関する経済的な負担が将来の生活不安につながっている現状から、子育て世代に対する経済的支援の拡充を図る。</p>		
K P I (重要業績評価指標)			
乳幼児健診受診率			

	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	97.2%(H26年)	100%【変更なし】
赤ちゃんルームこあらの参加率		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	65.6%(H26年)	75%【変更なし】
主な施策		
総合相談機能の充実、子育てに関する情報提供、子育て家庭への経済的支援の実施、子育てサークルの育成		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の充実(既存) ・子育てガイドブックの発行(既存) ・育児支援金交付事業(既存) ・地域子育て支援拠点事業(子どもセンター運営費補助)(既存) ・子ども医療費給付事業の拡充(既存) ・子ども夢事業(既存) ・乳児家庭全戸訪問(既存) ・養育支援訪問事業(既存) ・赤ちゃんルームこあらの開催(既存) ・保育料多子世帯軽減事業(既存) 		
基本項目	安心して子育てができる環境の整備	
概要	このまちで子どもを育ててみたいと思える環境の整備を図る。	
K P I (重要業績評価指標)		
定住促進住宅の建設数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	4戸(H26年)	14戸(5年間の累計)【17戸(6年間の累計)】
児童館の再整備数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	-	1件(5年間の累計)【1件(6年間の累計)】
総合公園の再整備数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	-	1件(5年間の累計)【1件(6年間の累計)】
主な施策		
安全安心な公園の維持・整備、子育て世帯向け住宅の確保、各世代が利用できる複合的な屋内施設の整備		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・総合公園の再整備(新規) ・定住促進住宅の整備(多子世帯への居住支援)(既存) 		

- ・ 公営住宅の整備(既存)
- ・ 児童館等屋内複合施設の整備(新規)

基本項目	仕事と子育てが両立できる環境整備	
概要	保護者の保育ニーズにあった、保育の確保や学童保育所などの整備・運営の確立を図る。	
K P I (重要業績評価指標)		
学童保育所の利用者数		
	現状値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	58 人(H26 年)	現状維持【変更なし】
待機児童数		
	現状値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	0 人(H26 年)	0 人(5 年間の累計)【変更なし】
主な施策		
保育サービスの充実、 放課後児童対策の充実、 職場および家庭内での両立支援		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病後児保育事業の実施(新規) ・ 一時保育事業(保育園への運営費補助)(既存) ・ 保育時間の延長検討(既存) ・ 障害児保育事業(保育園への運営費補助)(既存) ・ 育児休暇や短時間勤務など職場環境の整備の啓発(新規) 		

基本項目	教育環境の充実	
概要	<p>未来を担う子どもたちを育み、新しい時代・社会に貢献できる教育体制の構築を目指す。</p> <p>学校、家庭、地域を通じて、各世代の課題やニーズに応じた学習機会の提供を進める。また、地域全体で子どもたちを守り育てる体制を推進する。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
町内中学生の地元高校への進学率		
	現状値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	44.6%(H26 年)	50%【変更なし】
派遣交流事業の開催数		
	現状値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	-	5 回(5 年間の累計)【6 回(6 年間の累計)】
放課後子ども教室の実施数		
	現状値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】

-	40回/年以上【変更なし】
主な施策	
学習内容を確実に習得させる取り組み、全校体制による学習規律の確立と落ち着いた学習環境づくりの推進、補習学習のサポートの実施、学習指導方法の工夫・改善、家庭学習の習慣化の促進、児童の放課後や休日などにおける体験活動の機会の充実、児童生徒の道外・国外への派遣・交流事業の推進、家庭教育に関する学習機会・情報の提供、児童生徒が将来への夢を抱き育む事業の実施・支援	
具体的な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業の実施(既存) ・特別支援教育就学奨励費支給事業(既存) ・放課後子ども教室の実施(新規) ・小学生道外派遣研修事業の実施(新規) ・通学合宿の実施(既存) ・子ども夢事業の実施(既存) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園就園奨励費補助事業(既存) ・池田高等学校就学奨励事業(既存) ・わんぱく体験塾の実施(既存) ・中学生国外派遣研修事業の実施(新規) ・教育講演会の実施(既存)

基本項目	障がいのある子どもに対する支援	
概要	子どもの成長を地域全体で支え、子どもとともに親や地域が成長する「共育(きょういく)」を目指し、充実した体制づくりを進める。	
K P I (重要業績評価指標)		
通所支援を必要とする児童の発達支援センター通所率		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	88%(H26年)	100%【変更なし】
子育て世代に対する子どもの健やかな発達に関する啓発活動回数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	3回(H26年)	25回(5年間の累計) 【18回(6年間の累計)】下方修正
主な施策		
早期発見・早期療育体制の充実、家族相談支援体制の整備、発達・障害についての広報啓発活動		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・健診における早期発見(既存) ・関係機関のネットワーク形成(新規) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達相談・療育指導(既存) ・子育て世代に対する広報・啓発活動(新規) 	

【基本目標4】 誰もがいきいきと暮らせる住みよい町づくり

数値目標	
空き家解体数(老朽住宅解体促進事業利用件数)	
現 状 値	8 戸(8 戸)(H26 年)
目 標 値	50 戸(5 年間の累計) 【75 戸(6 年間の累計)】
転出者数	
現 状 値	299 人(H25 年) 地域経済分析システム【R E S A S】
目 標 値	150 人減少(5 年間の累計) 【変更なし・確認未済により】
基本的方向	
<p>交通インフラの整備やライフスタイルの変化により、町民の生活圏が自治体の枠を超えて広がり、行政課題が広域化するとともに、少子高齢化、安全、医療、福祉など課題の複雑化、高度化が進んでいる。</p> <p>誰もが池田町でいきいきと住み続けられるよう、時代に合った生活環境を構築するとともに、地域の絆を深め、安全で潤いのある豊かな地域づくりを進める。</p> <p>近隣市町村と課題の情報共有を図り、政策連携、各種研究等を展開し、広域的な視点から魅力ある地域づくりを進める。</p> <p>防災、防犯、交通安全等の側面から安全・安心を守るまちづくりに努める。</p> <p>稀薄になりつつある地域コミュニティ強化のため、自治会活動等を積極的に支援するとともに住民同士の交流の場の創出に努める。</p> <p>日常の生活やいざという時の地域による見守りや相互支援など、地域の支え合い・助け合いの輪を広げ、誰もが安全で安心して暮らせる環境づくりを推進する。</p>	

基本項目	コンパクトなまちづくり	
概 要	人口規模に合わせたコンパクトで利便性の高い市街地形成を進める。	
K P I (重要業績評価指標)		
高齢者専用住宅の生活者数		
	現 状 値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	-	10 人(5 年間の累計)【変更なし】
まちなか公営住宅の建設数		
	現 状 値	目標値(平成 31 年)【(令和 2 年)】
	2 戸(H26 年)	10 戸(5 年間の累計)【8 戸(6 年間の累計)】
主な施策		
まちなか機能の再整備、 大通商店街の再整備、 まちなか居住の推進		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗活用事業(新規) ・ 老朽店舗の解体促進及び解体後の環境整備(新規) ・ まちなか公営住宅の整備(既存) ・ 高齢者専用住宅の整備(新規) 		

基本項目	交通ネットワークの形成	
概要	地域公共交通機関の維持・確保を図りながら、利用促進に向けた取り組みや新たな移動手段の検討を進める。	
K P I (重要業績評価指標)		
コミバスの利用者数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	4,975人(H26年)	7,500人【8,600人】
主な施策		
地域公共交通ネットワークの整備		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環型コミュニティバスの運行(既存) ・デマンド式乗合タクシーの導入(新規) ・地域間幹線系統確保維持対策事業(既存) 		
基本項目	小さな拠点づくり	
概要	北部地域の生活拠点として高島地区における日常生活を支える機能の維持・確保を図る。	
K P I (重要業績評価指標)		
高島地区の人口数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	219人(H27年3月末)	200人【変更なし】
主な施策		
《高島地区》集落を支える、商店、診療所、集会所等、日常生活を支える機能の維持		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・中心部への集約(新規) ・農協事務所・店舗の活用(新規) ・高島地区の活性化対策の検討(既存) 		
基本項目	美しい田園風景や豊かな自然環境の保全	
概要	豊かな自然環境を活かした、大いなる田舎暮らしの実践を図る。 低炭素型社会に向けた地域全体の温暖化対策を進めると共に地域住民が一体となった取り組みを推進する。	
K P I (重要業績評価指標)		
資源ごみ処理量(町収集分)集団資源回収		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	808,657kg(H26年)	850,000kg【642,000kg】

集団資源回収団体数(自治会等)	
現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
31団体(H26年)	現状維持【変更なし】
新エネルギーを活用した事業数	
現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
- (H26年)	1件(5年間の累計)【1件(6年間の累計)】
主な施策	
自然環境の保護の推進、資源循環型社会の推進、省エネルギー対策の推進、公害防止対策の推進、ごみの減量化・資源化の促進	
具体的な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか環境美化事業(既存) ・資源ごみ回収助成事業(既存) ・太陽光、バイオマス、水素等を活用した新エネルギー事業の検討(新規) ・コンポスト購入補助事業(既存) ・住宅用太陽光発電導入支援補助事業(既存) 	

基本項目	防災対策の充実
概要	災害時の迅速な対応に向けた地域支援体制の構築を図る。
K P I (重要業績評価指標)	
自主防災組織の数	
現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
8件(H26年)	12件【変更なし】
防災訓練の回数	
現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
-	10回(5年間の累計)【6回(6年間の累計)】
避難行動要支援者名簿の登録者数	
現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
301名	360名【変更なし】
主な施策	
自主防災組織の育成と関係機関との連携強化	
具体的な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の支援(既存) ・防災訓練、避難訓練の実施(新規) ・町内会との災害時協定と避難行動要支援者名簿(台帳)への登録の促進(継続) 	

基本項目	地域コミュニティの充実	
概要	<p>支え合いとふれあいによる温かな地域社会を構築するため、自主的なコミュニティ活動の充実を図る。</p> <p>住み慣れた地域で安心して、いきいきとした生活を送ることができるよう、各種支援体制の充実を図る。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
介護支援ボランティアの登録数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	74人(H26年)	150人【変更なし】
介護支援ボランティア交換ポイント数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	1,679ポイント(H26年)	14,381ポイント(5年間の累計) 【14,500ポイント(6年間の累計)】
主な施策		
協働型まちづくりの展開、自主的なコミュニティ活動の支援、ボランティアの育成・支援、高齢者の社会参加の推進		
具体的な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動支援事業(既存) ・地域コミュニティの場の提供(新規) ・高齢者専用住宅の整備(新規) 		

基本項目	広域連携の推進	
概要	<p>定住自立圏や隣接市町村との役割分担や連携体制の構築などを進めるとともに情報交換や共同研究を通じて、広域的な地方創生を促進する。</p> <p>まちづくりと連携したバス利用の促進に取り組むほか、北海道と連携し、結婚支援ネットワークの形成などに取り組む。</p> <p>圏域マネジメント能力の強化に向け、職員の合同研修などを継続するほか、産学官が連携し、ビッグデータ等を活用した十勝圏の現状分析を進める。</p>	
K P I (重要業績評価指標)		
十勝管内の観光入込み客数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	967万人(H25年)	1,020万人【変更なし】
十勝管内バス乗客数		
	現状値	目標値(平成31年)【(令和2年)】
	457万人(H24-26年平均)	462万人【変更なし】

主な施策
十勝定住自立圏共生ビジョンの推進
具体的な事業
<ul style="list-style-type: none">・十勝定住自立圏共生ビジョンに基づく取り組みの実施(新規)・近隣市町村との広域連携事業(新規)